ポスターNo.7

コロナの中でも笑顔でつながりを

長野県長野市
大豆島地区住民自治協議会

月1回行っていた「まめっ子サロン」（子育てサロン）がコロナ禍により開催できなくなり、オンラインでサロンをやってみました。スタッフもオンラインでやるのは初めて、ママたちも初めてだったので、まずはお試しでやってみました。「これならできるかも」ということで、2回オンラインサロンをやりました。前半は子どもさん向けに絵本の読み聞かせと手遊び、後半はお母さん同士のフリートークの時間にしてみました。「コロナで外出する機会が減り、家族以外と話をすることがなかった」というママたちが多く、おしゃべりをすることで気分転換にもなったようでした。

その後「やっぱりリアルで集まりたい」という声があり、月１回ですが時間を短くし人数を限定する中でサロンをやっています。7月にはZUMBAの体験をしました。ママたちが汗をかきながら音楽に合わせて踊っている横で、子どもたちがノリノリで身体を動かしていました。

8月には高校生4人が遊びに来てくれました。高校生には子どもたちと何をして過ごしたいか、そのための準備は何をすればいいのか、事前に考えてもらいました。一緒にダンスを踊ったり、走り回ったり、帰りには手作りのお面を子どもたちにプレゼントしてくれました。はじめはお互いに緊張していたようですが、あっという間に仲良くなって、「また遊びにきてね」子どもたちもお母さんも笑顔で帰っていきました。保育園や施設でのボランティアの受け入れを中止しているところも多く、高校生にとってもいい経験になったのではないでしょうか。

サロンでは特別なことはやっていませんが、親子が安心して過ごせる場を今後も継続していきたいです。コロナの終息には時間がかかりそうですが、「今できること」をやっていきたいと思います。